

課題名：免疫チェックポイント阻害薬による脾障害の
発現状況および臨床経過に関する検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、免疫チェックポイント阻害薬による治療を受けられた患者さんについて、その後の脾酵素の推移や臨床症状の経過を調べることによって、脾酵素の上昇や急性脾炎の発症頻度とその臨床経過を明らかにすることを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2016 年 8 月から、2021 年 12 月までの間に、何らかのがんと診断され、免疫チェックポイント阻害薬（ニボルマブ、ペムブロリズマブ、イピリムマブ、アテゾリズマブ、デュルバルマブ）で治療をされた方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、身長・体重、がんの種類、これまでの治療経過、各種検査の結果、血液検査データの推移、急性脾炎や慢性脾炎、糖尿病の新規発症の有無、最終診察日（すでに亡くなっている方は死亡日）

さらに、脾障害を発症された方では、脾障害の初回確認日、脾障害初回確認時の自覚症状、ICI 治療継続の有無、脾障害に対する治療内容、脾障害確認日からの生存期間、経過中の血液検査所見・画像検査（腹部エコー検査・CT 検査・MRI 検査）所見についても収集します。

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を使用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
消化器内科 研究責任者 上野 真行

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明